



International Center for Spinal Cord Injury
at Kennedy Krieger Institute
Research, Restorative, Recovery
707 North Broadway
Baltimore, MD 21205
電話: (443) 923-9230
フックス: (443) 923-9215
www.spinalcordrecovery.org



- 直腸の状態をチェックする**—麻酔セリ—または麻酔軟膏を塗った後、直腸をチェックします。
 - 肌の状態をチェックする**—新しい外傷、痛み、あざ、やけど、腫れ、切り傷、虫刺されなどがないかを確認します。
 - 他の原因を探す**—症状が治まらない場合は、痛みの原因となりうる他の要素を探します。
 - 助けを求める**—症状を自分で解決できない場合は、医師に電話で助けを求めると、最寄りの緊急医療機関で受診してください。
- 重要: 病院では、医師や看護師に、反射異常の可能性があること、血圧を測定し、座った状態を探し、原因を特定する必要があるので、必ず教えてください。

CHRISTOPHER & DANA REEVE FOUNDATION
PARALYSIS RESOURCE CENTER
636 Morris Turnpike
Suite 3A
Short Hills, NJ 07078
電話: (800) 539-7309
フックス: (973) 912-9433
www.paralysis.org



- まっすぐに座る**—まっすぐに座るか、頭を90度以上に上げた状態にします。
- 重さ**: 血圧が正常値に戻るまで、まっすぐに座るか頭を90度以上に上げた状態を保ちます。
- 服を脱ぐ**か**緩める**—体を締め付けるものをすべて脱ぐか緩めます。
- 血圧を測る**—通常の血圧よりも高い場合(12歳以下では平常時より15 mm Hg 高い状態、13歳以上では平常時より15~20 mm Hg 高い場合)は、5分ごとに血圧を測定します。必ず適切なサイズの血圧/パッドを使用してください。
- 膀胱の状態をチェックする**—膀胱を空にします(膀胱にカテーテルを挿入)。留置カテーテルを使用していない場合は、ねじれやつまりがないかを確認します。

- 青ざめた顔色
 - 冷え
 - 冷や汗、寒気と汗
 - 発熱のない悪寒
 - 胃のむかつき、吐き気
- 損傷レベルがより下**
- 激しい頭痛
 - 緊張感、不安感、恐怖感
 - 頬、首、肩の紅潮
 - 目のかすみ
 - 鼻つまり
 - 発汗
 - 鳥肌
 - 吐きけり感
- 損傷レベルがより上**
- 高血圧(最大血圧が、12歳以下では平常時より15 mm Hg 高い状態、13歳以上では平常時より20 mm Hg 高い状態に急上昇)
 - 徐脈(心拍数の低下)または頻脈(心拍数の上昇)

fold

対処法

一般的な兆候・症状

* 医師の方へ *

自律神経反射異常(AD)を持つお子様に対しては、以下の処置が推奨されます。

- 患者を垂直(最大90°)に座らせます。
- 2~3分おきに血圧を測ります。
- 腹部などを簡単に診察し、膀胱や腸、その他損傷レベルより下の臓器系に、反射異常の原因となりうる膨張がないことを確認します。
- 尿道カテーテルが留置されていない場合は、カテーテルを挿入します。カテーテルが留置されている場合は、器具のねじれ、屈曲、収縮、閉塞がないことを確認します。
- 最大血圧が以下の場合:
 - 5歳未満では120超
 - 6~12歳では130超
 - 13歳以上では140超
 即効性のある降圧剤を短時間投与しながら、反射異常の原因を調査します。
- **ニトロペースト**—1/2インチ(13歳未満)または1インチ(13歳以上)を30分おきに損傷レベルより上の部位に局所塗布し、血圧が安定したらふき取ります。必要に応じて、再度塗布します。
- **ニフェジピン**(ニトロペーストが使用できない場合)—1回につき0.25~0.5mg/kg(13歳未満)または10mg(13歳以上)を即効性が得られる形態で舌下に噴射するか、患者にそしゃくさせます。必要に応じて20~30分おきに繰り返し投与します。
- **IV覚醒薬**—ICUで監視下にある患者にのみ投与します。
- 反射異常の症状が発現しなくなったら少なくとも2時間後まで症状と血圧を監視します。
- 自律神経反射異常は、発作、卒中、死につながる可能性があります。

詳細情報

氏名: _____

医療歴 _____

基準血圧: _____

基準体温: _____

神経損傷部位: _____

かかりつけの医師・病院: _____

電話番号: _____

アレルギー: _____

緊急連絡先 _____

緊急連絡先電話番号: _____

関係: _____

電話番号: _____

このプロジェクトの資金の一部は、米国保険社会福祉省 コミュニティ生活局(ワシントンD.C. 20201)、助成番号 90PR3001による助成金が充てられています。政府助成金を授けられたプロジェクトの関係者は、その知見や結論を自由に表現することが推奨されています。したがって、ここに示す見解や見解は、必ずしもコミュニティ生活局の公式見解ではない場合があります。

小児版

自律神経反射異常(AD)



概要:

血圧は、心臓から身体各所に送り出される血流の円滑さを示す指標です。自律神経反射異常(AD)は、胸部T6レベルよりも上に損傷がある脊椎損傷の血圧に影響を及ぼします。何か有害な刺激または痛みを感じる刺激があるか、その原因が特定できない場合、身体が混乱をきたします。これによって身体がパニック状態に陥って血圧が上昇します。血圧の過度の上昇は危険を伴います。痛みの原因を特定して取り除くことが重要です。適切に処置しなければ危険であり、患者の容態が極度に悪化することがあります。

自律神経反射異常は、医療上の緊急事態です。

一般的な原因:

- 膀胱の充満
- 直腸の充満/便秘
- 外傷
- 骨折
- やけど
- 感染
- 足の巻き爪
- 神経損傷レベルより下の部位に痛みや不快感を生じさせるあらゆる状態または行為。

